

主要経済指標等（2012年）

●人口	1,245万人
●GNI 総額	122.29億ドル
●GNI 一人あたり	970ドル
●経済成長率	8.9%
●失業率	7.8%
●対外債務残高	18.31億ドル
●援助受取総額（支出純額）	4.79億ドル
●DAC分類	後発開発途上国
●世界銀行分類	i/低所得国

出典）WDI（世界銀行）等。詳細は解説参照

表－1 我が国の対チャド援助形態別実績（年度別）

(単位：億円)

年 度	円借款	無償資金協力	技術協力
2009 年度	－	3.40	0.13(0.12)
2010 年度	－	3.10	0.23(0.22)
2011 年度	－	3.09	0.49(0.48)
2012 年度	－	3.30	0.21(0.21)
2013 年度	－	3.30	0.29
累 計	－	49.66	9.18(8.78)

※脚注参照

ミレニアム開発目標（MDGs）代表的な指標

過去データ

最新データ

●目標1：1日1.25ドル未満で生活する人々の割合	－	61.9%(2003)
●目標2：初等教育における純就学率	38.5%(1996)	62.5%(2003)
●目標3：初等教育における男子生徒に対する女子生徒の比率（男子を1とした時の女子の人数）	0.44人(1990)	0.75人(2011)
●目標4：5歳未満児の死亡数（1,000人あたり）	209.0人(1990)	149.8人(2012)
●目標5：妊産婦の死亡数（出生児10万人あたり）	1,700人(1990)	1,100人(2010)
●目標6：15～49歳のHIV感染率（100人あたりの年間新規感染者数の推定値）	0.44%(2001)	0.28%(2011)
●目標7：改良飲料水源を継続して利用できる人口の割合	39.8%(1990)	50.2%(2011)

出典）Millennium Development Indicators (The Official United Nations Site for the MDG Indicators)

チャドに対する我が国ODA概要

1. 概要

1960年8月に旧宗主国フランスから独立した後、チャドでは内戦をとまなう軍事クーデターによる政変が繰り返されてきた。2005年には東部アベシエにJICAがフィールドオフィスを開設したが、治安情勢の悪化により翌年閉鎖。現在は、邦人派遣をとまなう二国間援助は行っておらず、国際機関と連携した協力、研修員受入れ事業等を実施している。

2. 意義

チャドはUNDPによる人間開発指標（2013年）において187か国中184位とされており、国民の生活環境は劣悪である。そのため我が国は、チャド国民の生活環境改善を支援しており、ODA大綱の重点課題の一つである「貧困削減」の観点からも支援の意義が大きい。

3. 基本方針

チャドの政治・治安、支援需要や行政機構の援助受入能力を注視しつつ、基礎的生活分野や人づくりの分野を中心に援助の実施を検討する。

4. 重点分野

基礎的生活分野や人材育成を中心とした支援を実施するとともに、干ばつ・砂漠化等に対応し、国際機関と連携した食料安全保障分野への支援についても実施していく方針である。

表－2 我が国の年度別・形態別実績詳細（表－1の詳細）

(単位：億円)

年 度	円借款	無償資金協力	技術協力
2011 年度	なし	3.09 億円 ・食糧援助(WFP連携)(1 件) (2.70) ・草の根・人間の安全保障無償(1 件) (0.39)	
2012 年度	なし	3.30 億円 ・食糧援助(WFP連携)(1 件) (3.30)	
2013 年度	なし	3.30 億円 ・食糧援助(WFP連携)(1 件) (3.30)	
2013 年度 までの累計	なし	49.66 億円	9.18 億円 (8.78 億円) 研修員受入 256 人 専門家派遣 7 人

注) 1. 表－1 注釈同様

2. 技術協力においては、2011年度以降に開始され2013年4月の時点で継続中の技術協力プロジェクト案件のみを掲載している。案件の〔〕内は、協力期間。

※注) 1. 年度の区分および金額は原則、円借款および無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 2009年～2012年度の技術協力においては、日本全体の技術協力の実績であり、2013年度の日本全体の実績については集計中であるため、JICA実績のみを示している。
()内はJICAが実施している技術協力の実績および累計となっている。

表-3 我が国の対チャド援助形態別実績 (OECD/DAC 報告基準)

(支出純額ベース、単位：百万ドル)

暦 年	有償資金協力	無償資金協力	技 術 協 力	合 計
2009 年	—	13.85 (13.85)	0.13	13.98
2010 年	—	13.54 (13.54)	0.22	13.76
2011 年	—	20.39 (20.39)	0.43	20.82
2012 年	—	19.82 (19.33)	0.35	20.18
2013 年	—	6.38 (6.38)	0.26	6.64
累 計	—	104.02 (103.44)	9.76	113.76

出典) OECD/DAC

- 注) 1. 国際機関を通じた贈与については、2006年より、拠出時に供与先の国が明確であるものについては各被援助国への援助として「無償資金協力」へ計上することとしている。また、OECD/DAC事務局の指摘に基づき、2011年には無償資金協力で計上する国際機関を通じた贈与の範囲を拡大した。() 内は、国際機関を通じた贈与の実績 (内数)。
2. 有償資金協力および無償資金協力は、これまでに交換公文で決定した約束額のうち当該暦年中に実際に供与された金額 (有償資金協力については、チャド側の返済金額を差し引いた金額)。
3. 有償資金協力の累計は、為替レートの変動によりマイナスになることがある。
4. 技術協力は、JICAによるもののほか、関係省庁および地方自治体による技術協力を含む。

表-4 諸外国の対チャド経済協力実績

(支出総額ベース、単位：百万ドル)

暦 年	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位	うち日本	合 計
2008 年	米国 80.71	フランス 47.12	ドイツ 32.59	オーストリア 28.62	日本 14.39	14.39	286.21
2009 年	米国 169.63	フランス 46.45	ドイツ 27.93	オーストリア 19.71	スイス 16.23	13.98	361.99
2010 年	米国 134.60	フランス 46.10	ドイツ 20.09	スイス 14.94	日本 13.76	13.76	290.74
2011 年	米国 113.87	フランス 43.02	日本 20.82	ドイツ 14.72	スイス 13.20	20.82	255.45
2012 年	米国 118.71	フランス 41.95	日本 20.18	カナダ 19.55	スイス 17.38	20.18	257.53

出典) OECD/DAC

表-5 国際機関の対チャド経済協力実績

(支出総額ベース、単位：百万ドル)

暦 年	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位	そ の 他	合 計
2008 年	EU Institutions 148.05	AfDF 15.98	IDA 13.54	UNICEF 11.10	GAVI 5.06 UNFPA 5.06	29.12	227.91
2009 年	EU Institutions 118.97	AfDF 28.77	IDA 21.17	UNICEF 13.35	Isl.Dev Bank 12.96	54.82	250.04
2010 年	EU Institutions 101.90	GFATM 32.45	AfDF 20.46	Isl.Dev Bank 19.95	UNICEF 15.63	58.71	249.10
2011 年	EU Institutions 114.79	AfDF 38.84	IDA 26.60	GFATM 15.45	UNICEF 13.78	56.72	266.18
2012 年	EU Institutions 123.52	UNHCR 35.93	AfDF 26.03	IDA 19.08	Isl.Dev Bank 15.97	54.53	275.06

出典) OECD/DAC

注) 順位は主要な国際機関についてのものを示している。

主なプロジェクト所在図 ナイジェリア、ニジェール、チャド



〈ニジェール全国対象プロジェクト〉

- ⑬⑦ サヘル地域における貯水池の有効活用と
自立的コミュニティ開発プロジェクト(11)
- ⑬⑦ みんなの学校：住民参加による教育開発プロジェクト(12)

⑬ 太陽光を活用したクリーンエネルギー導入計画(12)



- ⑬ 食糧援助(11)
- ⑬ 貧困農民支援(13)
- ⑬ 中学校教室建設計画(13)

〈チャド全国対象プロジェクト〉

- ⑬ 食糧援助(WFP連携)(11)(12)

〈ナイジェリア全国対象プロジェクト〉

- ⑬ 小児感染症予防計画 (UNICEF連携)(11)(12)
- ⑬⑦ 全国水資源管理開発基本計画策定プロジェクト(11)

〈ナイジェリア プロジェクト所在地が複数にわたるもの〉

- ⑬⑦ コメ収穫後処理技術・マーケティング能力強化プロジェクト
(アブジャ、ナサラワ州、ナイジャ州) (11)
- ⑬ 地方給水改善計画(11)
(エヌグ州、オンド州、ケビ州、タラバ州、ナイジャ州)